

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成19年1月25日(2007.1.25)

【公表番号】特表2002-533123(P2002-533123A)

【公表日】平成14年10月8日(2002.10.8)

【出願番号】特願2000-591190(P2000-591190)

【国際特許分類】

C 12 N	15/09	(2006.01)
A 6 1 K	39/00	(2006.01)
A 6 1 K	39/09	(2006.01)
A 6 1 K	39/39	(2006.01)
A 6 1 P	11/00	(2006.01)
A 6 1 P	25/00	(2006.01)
A 6 1 P	27/16	(2006.01)
A 6 1 P	31/04	(2006.01)
C 07 K	14/315	(2006.01)
C 07 K	19/00	(2006.01)
C 12 N	1/15	(2006.01)
C 12 N	1/19	(2006.01)
C 12 N	1/21	(2006.01)
C 12 P	21/02	(2006.01)
C 12 N	5/10	(2006.01)

【F I】

C 12 N	15/00	Z N A A
A 6 1 K	39/00	H
A 6 1 K	39/09	
A 6 1 K	39/39	
A 6 1 P	11/00	
A 6 1 P	25/00	
A 6 1 P	27/16	
A 6 1 P	31/04	
C 07 K	14/315	
C 07 K	19/00	
C 12 N	1/15	
C 12 N	1/19	
C 12 N	1/21	
C 12 P	21/02	C
C 12 N	5/00	A

【手続補正書】

【提出日】平成18年11月30日(2006.11.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 2 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 2 8】

チャレンジ前の血清は、肺炎連鎖球菌(S. pneumoniae)と反応する抗体が存在するか否かについて標準的免疫検定法により分析した。ELISAおよび免疫プロットでは、大

腸菌により調製した組換え肺炎連鎖球菌 (*S. pneumoniae*) タンパク質での免疫化が、組換えおよび本来の連鎖球菌タンパク質両方と反応する抗体を誘導することを示した。

【表 3】

表 1：組換え B V H - 3 タンパク質が介在する防御

免疫原	生存マウス数 : 死亡マウス数 チャレンジ後 14 日	死亡日のメジアン(中央値)
B V H - 3	8 : 0	> 14
なし	0 : 8	1